

日本経済新聞

夕刊
6月14日
(水曜日)

発行所 日本経済新聞社
東京本社 電話(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 電話(06)7639-7111
名古屋支社 電話(052)243-3311
西部支社 電話(092)473-3300
電子版アドレス
<http://www.nikkei.com/>
購読のお申し込み
電話0120-21-4946
<http://www.nikkei4946.com>



関西のスイーツ専門店各社が海外進出を急いでいる。売り場を設けていた地方百貨店の閉店や少子高齢化の影響で国内市場は伸び悩む可能性があり、アジアなどに活路を拓く。フランチャイズチェーン（FC）契約や現地合弁を通じて出店し、現地の富裕層や若者の需要を取り込む。

関西スイーツ 海外で伸ばせ

サツマイモ菓子ハワイに1号店

チーズケーキ東南ア40店超

スイーツ専門店「らぼっぽ」を展開する白ハト食品工業（大阪府守口市）は6月下旬に米ハワイでサツマイモのスイーツを扱う海外1号店「ハワイアン・スイートポテト・ファクトリー」を開く。現地産のサツマイモを使うため2015年末以降に段階的に4畝の農場を取得しており、月10〜15トの収穫を見込んでいる。

国内市場、甘くなく

ラシタ（大阪市）はフイリンやタイにそれぞれ数店舗あり、今後3年弱を生産できる。ハノイで各国とも20店程度の新規出店を予定する。「現地の店を訪れる客が、観光で訪日する際に国内の店舗にも来る相乗効果が生まれている」（寄本将光社長）という。シユークリーム店のヤマムクリエイツ（大阪府東大阪市）はベトナム・ハノイで現地の合弁会社だ。19年までに売上高5

米国では地元食材重視や健康志向が強まっており「自然な甘味としてサツマイモが受ける」（永尾俊一社長）とみる。マラサダと呼ばれるハワイで人気の揚げパンなども販売。米本土への出荷や出店も視野に入れる。

焼きチーズケーキ店「PABLO（パブロ）」を展開するドロキア・オ

関西のスイーツ系企業は海外展開を進めている	
神戸風月堂	2016年7月にベトナム初出店。このほか中国などにも店舗
シュゼット	シンガポールやマレーシアに進出
エーデルワイス	フランスの洋菓子店買収を計画
白ハト食品工業	ハワイでサツマイモ農場を取得。出店も予定
ドロキア・オラシタ	フィリピンや韓国など多店舗展開
ヤマムクリエイツ	2月にベトナム工場稼働。店舗以外にも販路
モロゾフ	香港の子会社通してアジアの販路拡大

億円を目指す。関西は神戸港などを通じて古くから海外のスイーツ文化が輸入されている。

ため洋菓子店が多く、阪神間は激戦区とされている。矢野経済研究所によると、国内の16年度の菓子市場は前年度比2%増の2兆2655億円となったもようだ。ただ、けん引役はコンビニエンスストアや食品スーパー。専門店では「贈答品需要の落ち込みが大きい」（モロゾフの賀集輝昭副社長）といい、中間層の厚みが増しつつあるアジアを中心に海外市場の開拓を急ぐ。

たため洋菓子店が多く、阪神間は激戦区とされている。矢野経済研究所によると、国内の16年度の菓子市場は前年度比2%増の2兆2655億円となったもようだ。ただ、けん引役はコンビニエンスストアや食品スーパー。専門店では「贈答品需要の落ち込みが大きい」（モロゾフの賀集輝昭副社長）といい、中間層の厚みが増しつつあるアジアを中心に海外市場の開拓を急ぐ。